

# こじか荘かわら 秋

## 版

# 敬老会

みなさまの笑顔に  
感謝の気持ちを込めて

ご利用者のみなさまに楽しんでいただけるようにと工夫を凝らしながら「長寿のお祝いをする」とが出来ました。  
コロナ流行前のような規模の行事とはいきませんが、みなさまの笑顔がたくさん見せられたことがとても嬉しかったです。  
これからもお元気でお過ごし下さい。



### 職員紹介インタビュー



福祉・介護  
一筋!

頼りにされるのはありがたいこと

ヨロシクお願い  
致します



介護部長  
岸本裕子

— これまでの経歴をお聞かせください。

岸本 父が会社の経営をしていた関係で、転校が多かったです。小学校5年生で転校した先で小児マヒの女の子と一番仲良くなりました。転校したばかりで友だちがいない中、その子の手伝いをしながら、気持ちの面では反対に支えてもらって過ごした2年間でとても印象的でした。

— なかなか一か所に留まることが出来ない境遇の中、どちらにとっても心強い関係でしたね。それから中学に進学されて…

岸本 はい。その頃から何となくではありますが、小学校教員になることを夢見ていました。特に大きなキッカゲはありませんが、小さな子どもたちとグラウンドを駆け回ったり、触れ合ったりすることが自分にも向いていると思い、教員を目指し始めました。



— それでは高校卒業後はそちらの方面へ進学されたんですね?

岸本 はい。短大在学中に幼稚園教諭、小学校教諭、あと独学で保育士の資格を取得しました。そして広島県の教員採用試験に向けて勉強している時に、ある転機が訪れました。

— どういった転機だったのでしょうか?

岸本 当時の子鹿学園(現在の子鹿医療療育センター)に叔母が看護師として勤務しており、「良かったら一度見学してみたら?」と声を掛けてくれました。採用試験の勉強の傍ら、叔母の進言通り見学してみて、すごく印象深かったのを覚えています。その当時、重度心身障がい児の皆さんの様子や職員の方の働かれる姿を目の当たりにし、「私もこの様な施設で働きたい。」と強く感じました。見学から数か月後には、教員採用試験から目標を変更し、当時の子鹿学園に就職していました。

— 普段は目にする事のない職業ではありますが、「これだ!」と思ってからの切り替えが早かったですね。

岸本 はい。それくらい印象的でした。あと、今から思うと、小学校5年生の時に友だちになった同級生との2年間の福祉の世界に向き合うキッカゲになっていたのかもしれない。とにかく何の迷いもなくこの世界に入ることができました。

— 訪れた転機あとは順調でしたか?

岸本 法人内でいろいろな部署へ配属され、未就学児~成人まで関わらせていただきましたが、その先々の子供たちと過ごしたことは今でもよく覚えています。

身体障害、知的障害、自閉症など症状は様々ですが、みんなとても純粋でした。重度の心身障がい児が、少しずつ動けるようになってきたり、少しも座っていることが出来ない子が、イスにじっとして座れるようになってきたり、担当した女の子がトイレで排泄が出来るようにチームで取り組みトイレに行けるようになったこともありました。ことあるごとにみんなでいろいろ工夫し、関わり方一つで可能性が広がっていくことにとってもやりがいを感じました。つついとおせっかいをやきすぎてしまうこともありましたが(笑)。いろいろ大変なこともありましたが、楽しかった思い出ばかりです。

— 今ではこの「こじか荘」が最長の勤務期間となっていますね。

岸本 これまでの「療育」とはまた違って、高齢者介護では認知症を抱えるご利用者もおられ、その方のペースに沿った介護が必要でした。そのため、体感的に「待つ」ことが増えました。慣れるまでこの「待つ」ことが難しく思いましたが、認知症への理解を深めることやご利用者との関わりから得る「心の支え」で知らず知らずのうちに解消されていました。人生の大先輩から、ちょっとした介護でも、「ありがとう」と言ってもらえるのがとてもありがたく、何度もその言葉に助けられました。

— 脇目も振らずここまで突っ走ってきた印象ですが、他の職業に心が傾くことはなかったですか?

岸本 全くと言っていいほどなかったです。多分、同じ「ともえ会」の中でも節目、節目で異動を経験し、環境の変化が良い方へ作用したのと、子育ての面や勤務場所など、自分にとって働きやすかったんだと思います。

— 長い間にはいろいろな苦労やストレスもあったのではないかと察しますが、何か解消法がありますか?

岸本 実はストレスも多少はあるんでしょうが、自分ではあまりピンと来てません。なので特別な解消法も無いんです。休日も両親や孫と過ごすため、忙しく過ぎていきます。この「程よく忙しく過ごす。」ことがとても心の充実につながっている気がします。あと、テレビドラマで医療系の救命救急が舞台となったものや、どん底から這い上がるストーリーのものなどを好んで観ています。以前は「半沢直樹」、最近では「六本木クラス」にはまっていました。



福祉・介護の仕事について43年。わき目も振らず一筋にやってこられたのは、困っている人や援助が必要な人を放っておけないという性分と、困難に立ち向かい乗り越えた時の喜びを多く経験してこられたからなのかも知れません。  
私たちがまだまだ教わる事が多く、しっかりと見習っていきたいと思います。

### 編集後記



広報委員  
田原史子

今年も夏祭りや敬老会を開催することが出来ました。皆様の楽しそうな笑顔が見られ、私たちが元気をいただきました。これから寒くなりますので、皆様体調を崩されませんようご自愛ください。

### 面会制限について

7月22日より「窓越し面会」へ変更させていただきます。ご迷惑をお掛けいたしますが、皆様のご理解ご協力を、よろしくお願いたします。

### 寄付

八幡女性会様

(ウエス一箱)  
ありがとうございました

# 特養

十月に入り、めっきりと朝晩は涼しく感じるようになりました。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですので、ご利用者の健康面に留意した支援をさせていただきたいと思っております。

さて、八月は夏祭り。職員による手作りのお神輿が出現し、ご利用者の皆さんも大喜びでした。その他にも、おやつ作り、ドライブと、コロナ禍でも、いろいろと取り組んだひと夏でした。そして九月は「敬老月間」でした。こじか荘でも、「敬老会」を開催させていただきました。人生の先輩方を労い感謝する気持ちを込め、ご長寿とご健康をお祝いさせていただきました。

## こじか荘のひとコマ



お月見会



神輿制作風景

おじいちゃん  
の笑顔  
を見るために、  
**全員集合**



窓越し面会

今年も暑い夏でした。デイサービスでは、午後からの脳トレ、機能訓練・運動などに取り組んでいます。行事では七月に恒例の夏祭りを開催しました。職員の踊りやゲームで盛り上がり、笑いの絶えない祭りになりました。九月には敬老会を開催し、人生の先輩として、たくさんのことを学ばせていただいていることに感謝を込めて、お祝いをさせていただきました。これから、涼しくなってきたり過ごしやすくなりますが、体調管理に努め、また、引き続き感染症予防対策を行いながら、楽しい行事などを企画していきたいと思っております。

# 通所

**わっしょ〜い!**



百一賀



卒寿

誕生日会



夏祭り

手作りおやつ



3年間こじか荘を  
キレイにしてくださり  
ありがとうございました



お別れ会



夏祭り

## ボランティア

- 7月
- 22日 鯨谷美紀様 (散髪)
- 23日 やすらぎ隊 (窓ふき)
- 8月
- 23日 やすらぎ隊 (草刈り)
- 9月
- 17日 おすび会 (窓ふき)
- 24日 やすらぎ隊 (剪定)

## 新しい職員を紹介します!!

初めまして。8月から調理員として勤めさせていただいております。利用者さんの顔とお名前を覚え、美味しい食事を楽しみにして頂ける様、頑張ります。趣味はカヤックやキャンプ、ツーリングです。よろしくお願いします。



調理員 上野 景子